



Workshop

“Organising Europe since 1945: Old topics, New Approaches”

The University of Tokyo

Thursday, Jan 23

趣旨

Brexit やポピュリズムの問題で揺れる現代のヨーロッパ、その源流は、成功にも見えた前世紀の統合と冷戦の分断克服の歴史の中にも見い出せます。本ワークショップでは、ヨーロッパ国際関係史・統合史・政治経済史の第一線を走る2人の研究者、アンジェラ・ロマーノ氏 (EUI シニアリサーチフェロー) とエマヌエル・ムロン＝ドゥロール氏 (グラスゴー大学教授) をお招きして、両氏が率いる大規模国際共同研究プロジェクトを素材に、日本における欧州国際政治専門家も交えて議論します。

欧州統合や冷戦史に関心をお持ちの方、ヨーロッパ統合研究・国際政治史・経済史研究の最先端の状況やアプローチに関心のある方、是非ご参集下さい。

日時・会場

2020年1月23日 15:30~18:00

東京大学駒場キャンパス 18号館 4階・コラボレーショ

ンルーム 1

問い合わせ先

伊藤 武 (国際社会科学専攻)

E-mail tito@waka.c.u-tokyo.ac.jp

【プログラム】

オープニング 15:30 伊藤 武 (東京大学)

第I部 15:40~16:40

報告: Angela Romano (EUI, Department of
History and Civilization)

*“Looking West: the European Socialist
regimes facing pan-European cooperation
and the European Community”*

討論

小川 浩之 (東京大学) ・合六 強 (二松学舎大学)

第II部 16:50~17:50

報告: Emmanuel Murlon-Druol (University of
Glasgow, Adam Smith Business School)

*“The Making of a Lopsided Union: Economic
Integration in the European Economic
Community, 1957-1992”*

討論

池本 大輔 (明治学院大学) ・川嶋 周一 (明治大学)

まとめ